

# 家畜衛生広報



ながの

H23-2

平成23年(2011)年5月26日

長野家畜保健衛生所  
北信家畜畜産物衛生指導協会  
〒380-0944 長野市安茂里米村1993  
Tel : 026-226-0923 Fax : 026-227-2665  
E-mail: nagakachiku@pref.nagano.lg.jp

## 県内の牧草の放射性物質は暫定許容値以下でした！

県内2カ所で採取した牧草を検査したところ、放射性ヨウ素及び放射性セシウムは農林水産省が設定した暫定許容値以下でした。

### 検査結果

| 採取場所 | 採取年月日      | 放射性ヨウ素 | 放射性セシウム  |
|------|------------|--------|----------|
| 御代田町 | 平成23年5月9日  | 不検出    | 10 Bq/kg |
| 塩尻市  | 平成23年5月12日 | 不検出    | 不検出      |

【暫定許容値】(農林水産省)

(単位: Bq/kg)

| 区分                         | 放射性ヨウ素                      | 放射性セシウム |
|----------------------------|-----------------------------|---------|
| 乳用牛(経産牛及び初回交配以降の牛)用の牧草     | 70                          | 300     |
| 肥育牛(出荷前短くとも15ヶ月程度以降の牛)用の牧草 | 農産物で出荷制限が行われていない地域で生産された粗飼料 | 300     |
| その他の牛用の牧草                  |                             | 5,000   |

## 牛を放牧しましょう!!

県内の牧草の安全性が確認され、安心して放牧ができます。  
牛を積極的に放牧し、飼養管理の省力化、低コスト化、足腰が丈夫でルーメンが発達した生産性の高い牛を育成しましょう。  
飼料高騰対策としても、公共牧場利用を推進しています。



## 福島県の計画的避難区域等からの牛の導入について

福島県では、震災後一時中止されていた家畜市場も再開され、計画的避難区域や緊急時避難準備区域からの牛も出品されています。それらの地域から牛を導入した場合は、導入後の受入れを家畜保健衛生所職員が確認することとなっています。下記地域から牛を導入した場合は、家畜保健衛生所へ御一報ください。また、導入後は速やかに個体識別情報の移動記録を登録してください。

### 計画的避難区域

葛尾町、浪江村、飯舘村、  
川俣町の一部、南相馬市の一部

### 緊急時避難準備区域

広野町、楡葉町、川内村、  
田村市の一部、南相馬市の一部

地域の詳細は、家畜保健衛生所の保健衛生課へお問い合わせください。

# 韓国で、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザが発生しています

国内での発生はおさまっていますが、韓国では本年4月以降も発生が確認されています。引き続き、防疫対策を徹底してください。

2011年4月25日20時現在

## 韓国における口蹄疫の発生状況

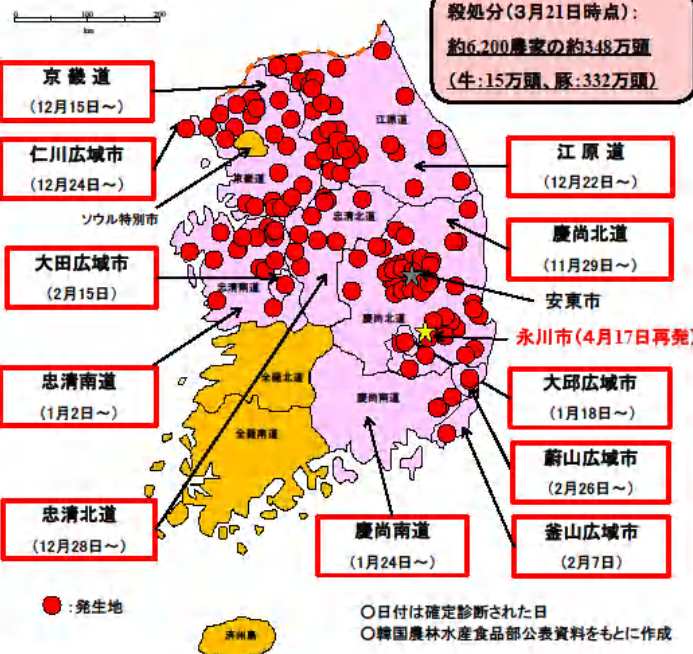
(2010年11月29日～、O型)

・昨年11月29日に慶尚北道の安東市で発生した口蹄疫は、全8道のうち2道(全羅北道、全羅南道)と済州島を除き、韓国全土にまん延。

・韓国政府は、昨年12月にワクチン接種を決定。2月26日までに、全国のすべての牛及び豚のワクチン接種(2回接種)を終了。4月3日、一連の発生が終息しすべての地域で移動制限を解除(最終発生は2月25日)。

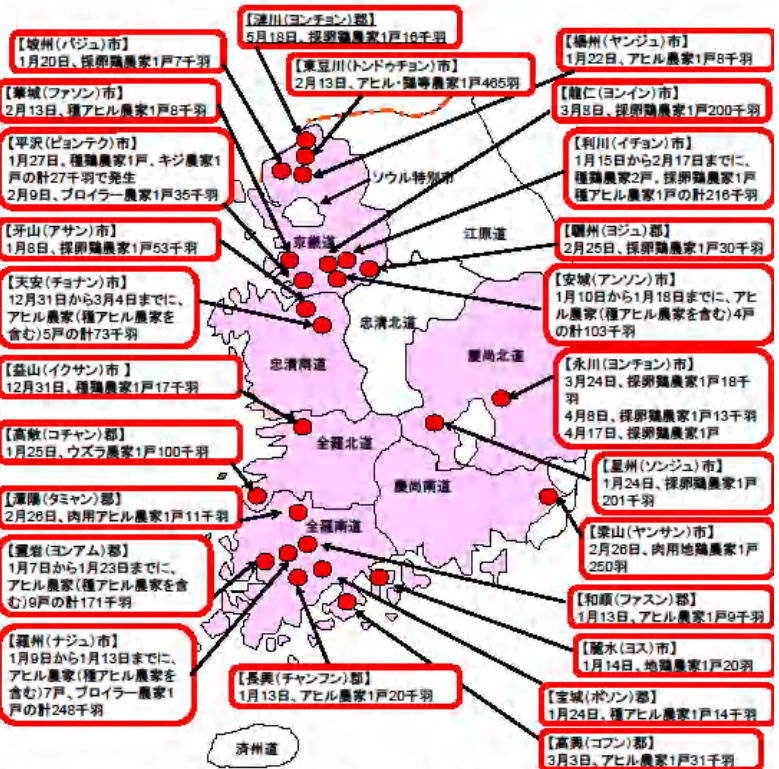
・4月17日に慶尚北道の永州市で再発生し、4月25日までに同市内で3例報告(全て豚)※。

※ 韓国政府は、①感染豚群の殺処分、②発生農場のみを対象とした移動制限、③全国農場の一斉消毒、臨床観察強化、④発生農場周囲3kmを対象にワクチンの追加接種を実施。



2011年5月18日13時現在

## 韓国における高病原性鳥インフルエンザ(H5N1亜型)の発生状況(2010年末～)



【野鳥での発生状況】  
・2010年11月23日～2011年2月6日に、全羅南道海南郡、全羅北道益山市、京畿道平沢市、蔚山広域市蔚州郡など7市・道の野鳥からウイルスを分離(全17件)。  
※野鳥の種類:オオハクチョウ、マガモ、トモエガモ、オンドリ、ワシミズク、ハヤブサなど

【家きん農家での発生時の防疫対応】  
・殺処分(発生農場(12月31日～5月18日:54農場)、疫学関連農場)  
・予防的殺処分  
(発生農場から半径500mまたは3km内)  
・10km圏の移動制限・サーベイランス  
※3月27日付の報道によれば、269農家が殺処分対象。

# スクレイピー(伝達性海綿状脳症)の発生がありました

平成23年4月14日 福岡市 めん羊 1頭  
平成23年5月23日 大分市 めん羊 1頭

めん羊、山羊の飼育者の皆様は、激しい搔痒感とそれに伴う脱毛、無気力化、麻痺、運動失調、発育不良などの異常が見られた場合には、家畜保健衛生所へご連絡ください。